

新潟県交通遺児基金の事業

新潟県交通遺児基金は、平成3年6月に設立され、父母等が交通事故により死亡し、又は重度の後遺障害を受けた未就学児、児童及び生徒を支援、激励する活動を行っています。

また、県民の皆様の交通安全意識をさらに高め、交通事故防止を図るため、令和5年度から、県内の高校3年生等に向けた交通安全啓発動画を制作・配信する活動も行っています。

これらの活動は、県内外の個人の皆様や企業・団体様からの寄附金と基本財産の運用益により行っています。

《令和7年度 事業一覧》

事業		対象者	実施時期	備考	
交通遺児等支援事業	見舞一時金の給付	100,000円	県内に住所を有し、新たに交通遺児等となった18歳以下の者	随時	□座振込
	入学・卒業時の給付	入学 50,000円 卒業 100,000円	・小学校・中学校に入学した者 ・中学校・高等学校等を卒業した者	5月	□座振込
	図書カードの贈呈	乳幼児 10,000円 小学生 15,000円 中学生 20,000円 高校生 25,000円	10月1日現在、乳幼児及び小学校・中学校・高等学校等に在学中の者	12月	各家庭へ送付
	芸術鑑賞等助成事業		交通遺児等及びその家族	2月又は5月	□座振込
	夏休み2DAYSふれあいツアー		同上	8月9日～8月10日	東京ディズニーリゾート
交通安全推進事業	交通安全啓発動画等の制作・配信	県内の高校3年生（約17,000人）等	3月	学校等を通じ配信	
	機関紙「きぼう」発行	各家庭、寄附者様等	2月	各家庭、寄附者様等へ郵送	

交通遺児家庭の皆さまから寄せられた声

給付事業

- 長男、次男が年子のため、入学時はいつも大変ですが、支援いただいたおかげで無事入学準備ができました。
- 息子は高校に入学し、バレーボール部に所属して頑張っており、娘は看護師を目指し大学で学び始めています。いただいた祝金は、とても心強く、ありがたく思います。

夏休みふれあいツアー

- 毎年のツアーを楽しみにしています。こどもたちが大きくなっていく中で、思い出の1ページとして残る楽しい旅をいつもありがとうございます。
- 夏休みのふれあい旅行に招待いただき、こどもたちにとって大きな楽しみです。親の私にとっても同じ境遇で頑張っておられるご家族との交流により癒され、元気づけられました。

図書カード

- 娘は絵本が好きなので、毎年いただいている図書カードは本当にありがたいです。
- 残された家族は笑顔をなくし、バラバラになりかけていた中、図書カードなどをいただき、こどもたちにまた少しずつ笑顔が戻ってきました。

その他

- 長女が高校1年生の秋、主人が突然亡くなり、大きな不安と悲しみの中にいましたが、たくさんのご支援をいただいて、無事に大学進学することができました。
- パパがいなくなってから早いもので5年が経ちます。2歳と3歳だったこども達もあっという間に小学生になりました。もうパパに会えないのはさみしいけど、こども達とがんばっているからね！

《県内の交通遺児等》 令和7年10月1日現在の交通遺児等は61名で昨年同時期より6名減少しています。

区分	乳幼児	小学生	中学生	高校生	合計	世帯数
令和7年度	4	21	14	22	61	40
令和6年度	5	16	19	27	67	44